

## 民進党 臨時全国青年大会 決議

我々青年議員は、政権を担っていた前身の民主党時代から、「若い力を党勢拡大のエンジンに」を共通の認識として、「生活者」「納税者」「消費者」「働く者」のための政治をめざす「青年委員会」としての全国ネットワークを構築してきた。

青年委員会では、国会議員と地方議員の上下関係を排して「ボトムアップ型」の運営を行い、全国各地の地方選挙の相互支援はもちろん、国政選挙における支援活動や災害ボランティアなど党務に積極的に取り組んできた。また、政策研修会を毎年開催するなど研鑽し、政党支持率が厳しい状況にあっても地域の中で民主党・民進党の旗を立てて地道な活動を行っている。

今年11月には、骨髄ドナー登録を推進するための全国各地での政策展開が高く評価され、全国青年委員会は日本最大の政策コンテストであるマニフェスト大賞で最優秀賞を受賞した。

これは、急性白血病で亡くなった同志である日比健太郎名古屋市議員が遺した白血病治療に関する政策提言を、我々の全国ネットワークを活用して、各地域・各地方議会で一斉に取り組み、実現した成果である。

しかしながら、先の衆議院選挙の対応によって我々が所属する民進党は非常に厳しい状況に陥り、この全国ネットワークが分断される危機に見舞われている。

我々全国青年委員会は、民進党の地方に根差した全国ネットワークは日本の民主主義を成立させる重要な価値ある政治・社会資源であり、これを存続・発展させるべきと考えている。

このことを我々は自覚した上で、日本の民主主義の発展に、全国青年委員会の全国ネットワークを維持・発展させていくことをここに決議する。

以上

2017年12月3日  
全国青年委員会